

宮崎県立看護大学大学院看護学研究科 令和2年度修士論文要旨

精神科病院における患者の退院支援に活かす退院前訪問に関する研究

池間 功一（応用看護学）

【キーワード】 精神科病院 退院前訪問 退院支援

日本における精神疾患患者の精神科病院の平均在院日数は長期であり、退院しても再入院率も高く地域定着に繋がりにくいという特徴がある。退院支援の一つとして精神科退院前訪問を実施しており、精神科病院では他の診療科よりも実施回数が多く設定されている。本研究は、精神科病院における患者の退院支援に活かす退院前訪問のあり方を検討することを目的とした。

精神科病院に勤務する看護師6名を対象に精神科退院前訪問実施後に半構造化面接を行い、その内容を質的記述的分析法で分析した。看護師の語りを逐語録におこし、先行研究で整理した8つの項目（身体機能、生活調整、精神症状、人間関係構築、想像する力、自己評価、家族との関係、社会資源の活用）の該当箇所に分類したうえでカテゴリ化した。203のコード、88のサブカテゴリから40のカテゴリを生成した。その後、項目別に生成されたカテゴリ間の重なりやつながりを、サブカテゴリに遡って検討した。各項目間の連関から、退院前訪問における看護師の視点を以下のように取り出した。

- 1) 自らの精神の健康に関心を注ぎ、治療に参加できているか
- 2) 精神症状の安定を図る薬物の有害事象が生じることなく〈食-排泄〉〈活動-休息〉のバランスを保つ生活を作り出す身体機能を有しているか

- 3) 現在の身体機能を正しく認知し、今後地域生活を送るための体調管理が行えるか
- 4) 安定した精神状態で先を見通しながら日常生活を作り出せるか
- 5) 相手の気持ちを察したり、先の事を想像あるいは過去の出来事を想起しつつ、安定した感情で他者との関係をもてるか
- 6) 自身の存在価値を認めて自己主張しつつ、相手と折り合いをつけることができるか
- 7) 退院後の生活に希望を持ち、自分らしく社会に生きる姿を描いているか
- 8) 家族を含め他者との関係の中で個性が支持され、自己肯定感を持つことができているか
- 9) 家族の支援力（情緒的・物理的・経済的）がどの程度あるか
- 10) 家族の支援力を含めて、対象の不足している力を補うまたは持てる力が発揮できるための社会資源は何か

精神科病院に入院する患者の退院支援に活かす退院前訪問は、上記の10の視点をもって実施し、本来患者が持つ力や病により低下している力を見抜いて病院内看護につなげ、退院まで繰り返し支援していく、というあり方と捉えられた。病は人との関係の中で生成し、目で直接捉えられないという精神疾患の特性を踏まえ、精神状態が身体に影響し身体が精神状態に影響する、精神状態が人間関係構築に影響し人間関係が精神状態に影響する、地域で支える人的資源の活用も精神状態に影響することを踏まえつつ、他の診療科よりも実施回数多く設定されている退院前訪問を効果的に実施することで、地域定着を目指す退院支援になりえると考えられた。